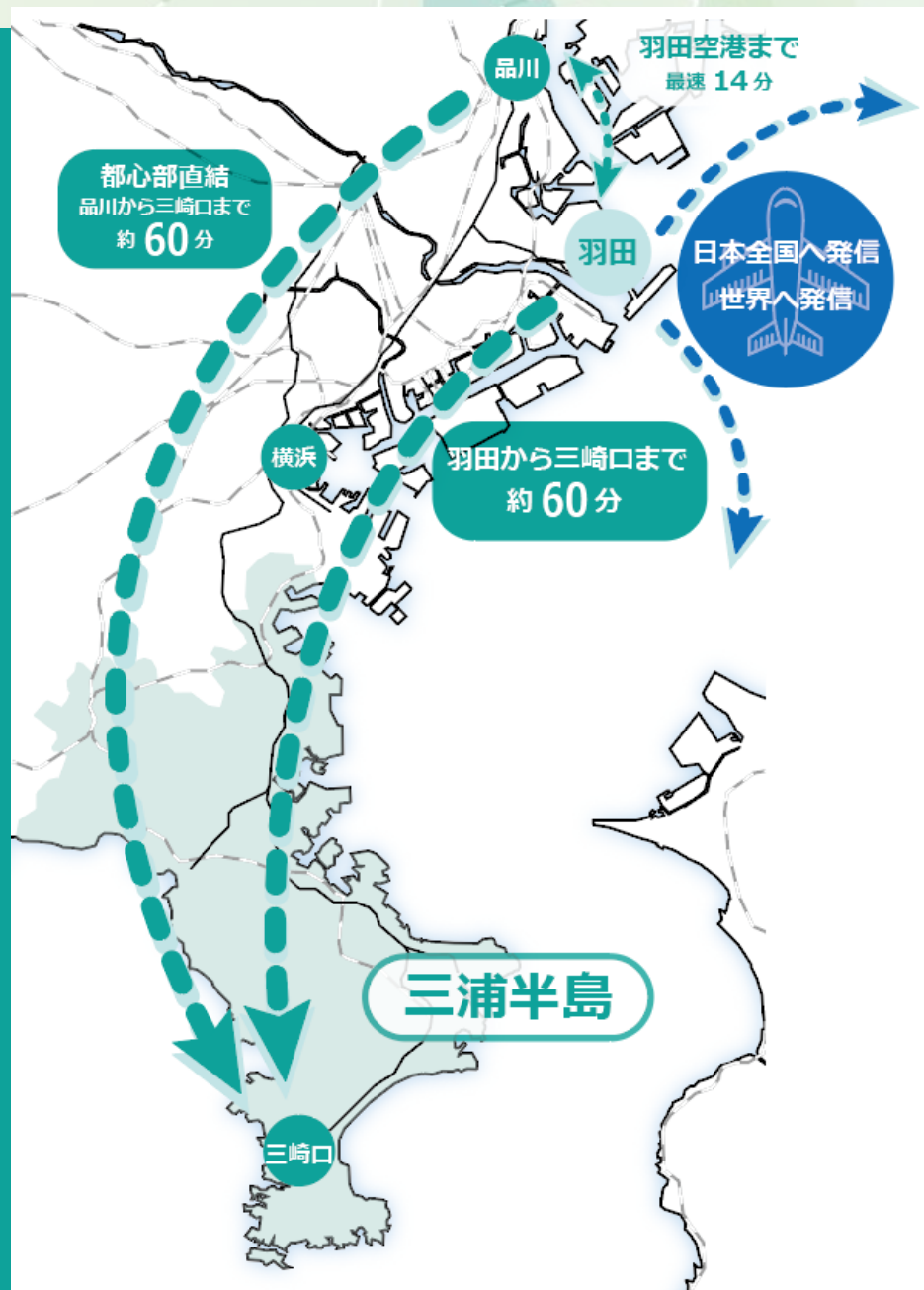




「都市近郊リゾート みうらの創生」

京浜急行電鉄株式会社



三浦半島の特徴

年間1,600万人が来訪する観光地

都心から1時間圏内のアクセス性

東京駅から40～70キロ、羽田空港からは30～60キロ圏内に位置し、当社線の都心、羽田空港乗り入れによって鉄道アクセスが確立。三浦縦貫道の延伸により、車でのアクセスも良好です。

バラエティに富む観光資源

海や丘陵地などの恵まれた自然環境や、ペリー来航以来海軍の街として栄えた史跡、豊かな食の魅力などの観光資源を有し、多くのお客様が訪れています。

三浦半島におけるこれまでの事業展開

1960年代から三浦半島各地に観光施設を整備し、 都心からの観光客誘致を推進



●油壺レストハウス（のちの観潮荘）開業（1959年）

●京急油壺マリンパーク開業（1968年）

●観音崎ホテル開業（1962年）

●葉山マリーナ開業（1964年）

●城ヶ島京急ホテル開業（1965年）※2020年閉館

●三浦ビーチセンター開業（1969年）※1998年閉館

☆三浦海岸駅開業（1966年）

☆三崎口駅開業（1975年）



●観音崎京急ホテル開業（1985年）



●SPASSO開業（2005年）

●snow peak glamping
京急観音崎開業
（2017年）



●みさきまぐろきっぷ発売（2009年）

●よこすかグルメきっぷ発売（2010年）

●葉山女子旅きっぷ
（2015年）



近年は新規ブランドや
地域事業者等と連携し
新しいスタイルで観光事業を展開

1960

1970

1980

1990

2000

2010

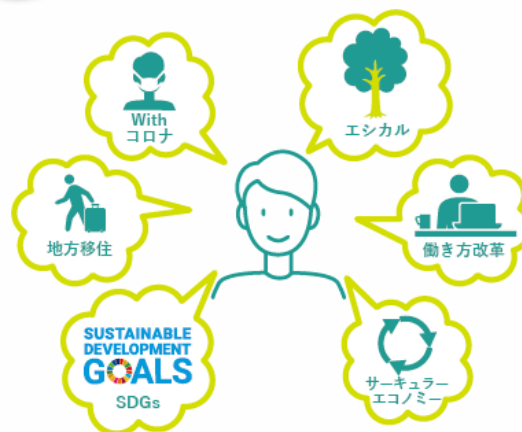
2020

社会情勢の変化に伴い、事業姿勢の転換が求められる

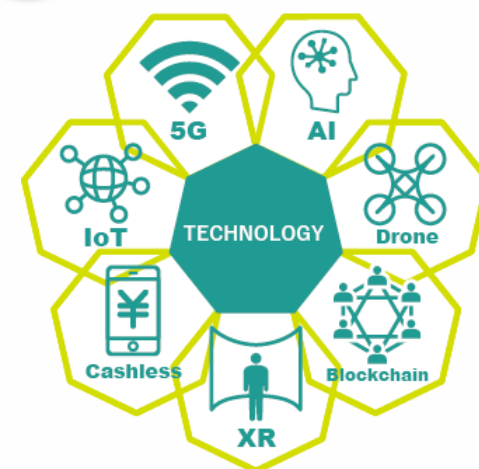
複雑化する
社会課題の解決



多様化する
消費者ニーズへの対応



高度化する
テクノロジーの活用

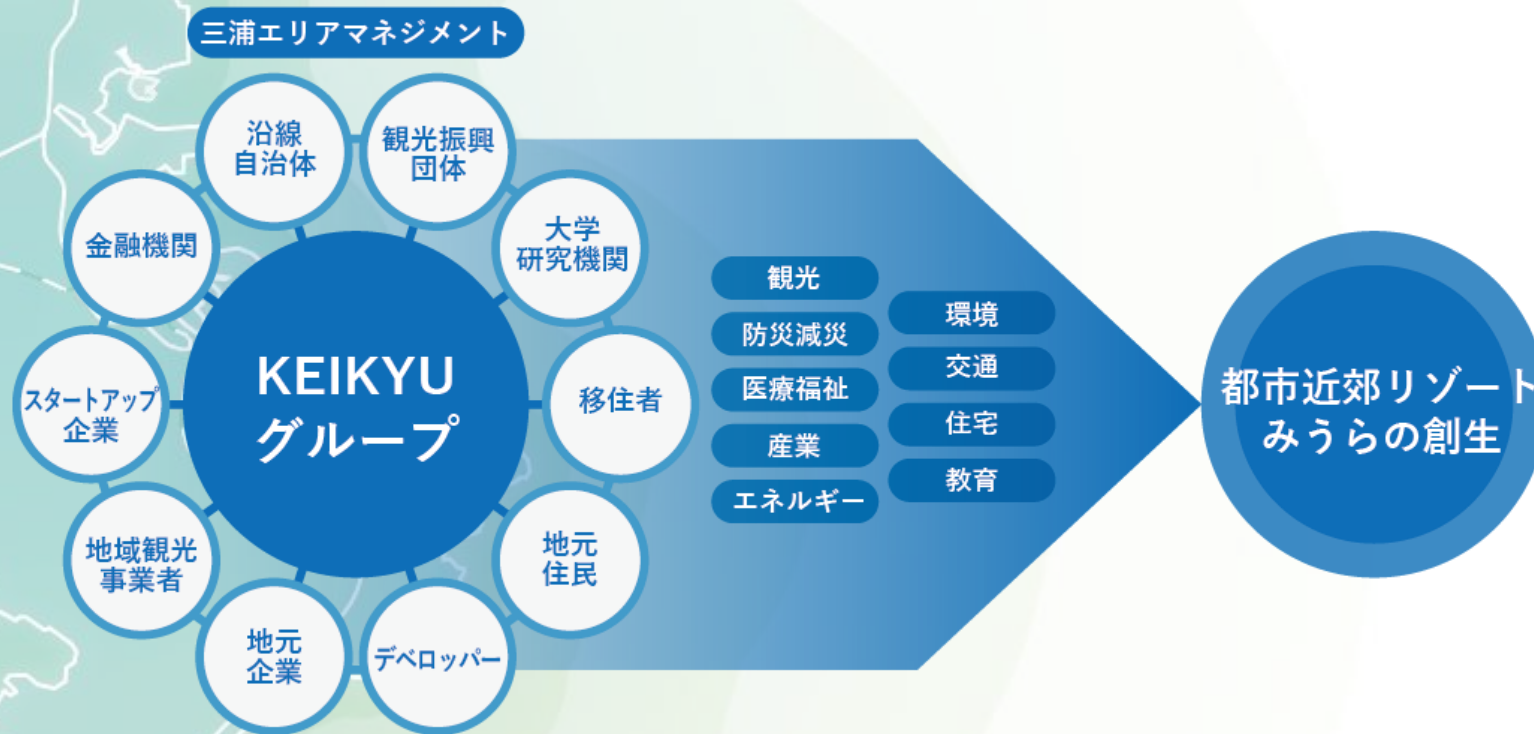


これらを実現し、新しい価値を創出するためには、
多様なステークホルダーが異なる知恵・価値観・資源・技術などを持ち寄ることが不可欠

これからは、三浦半島の資源を最大限活用すべく

行政・企業・大学・地元と連携してエリアの価値を共創

三浦半島各エリアを総合的に捉えたエリアマネジメント加速 三浦半島の「コミュニケーションハブ」へ



行政・企業・大学・地元を繋げる「コミュニケーションハブ」へ役割を切り替え、
三浦半島における様々な課題に取り組み、価値向上につなげます。

具体的整備方針

1

エリアマネジメント によるエリア価値向上

- ① エリアマネジメント組織による地域課題の解決
- ② 観光型M a a S機能整備による滞在性、回遊性向上
- ③ 新規事業者の誘致による魅力ある施設の整備

2

定住人口増加 (多様な住まいの提供)

- ① 三浦暮らしを実現する多様な住まいの提供
- ② 多世代住宅の整備

3

交流人口増加 (観光、回遊性)

- ① 地域事業者等との連携
- ② 官民連携事業（PPP/PFI）への参画
- ③ 油壺地区における観光ハブ拠点の整備

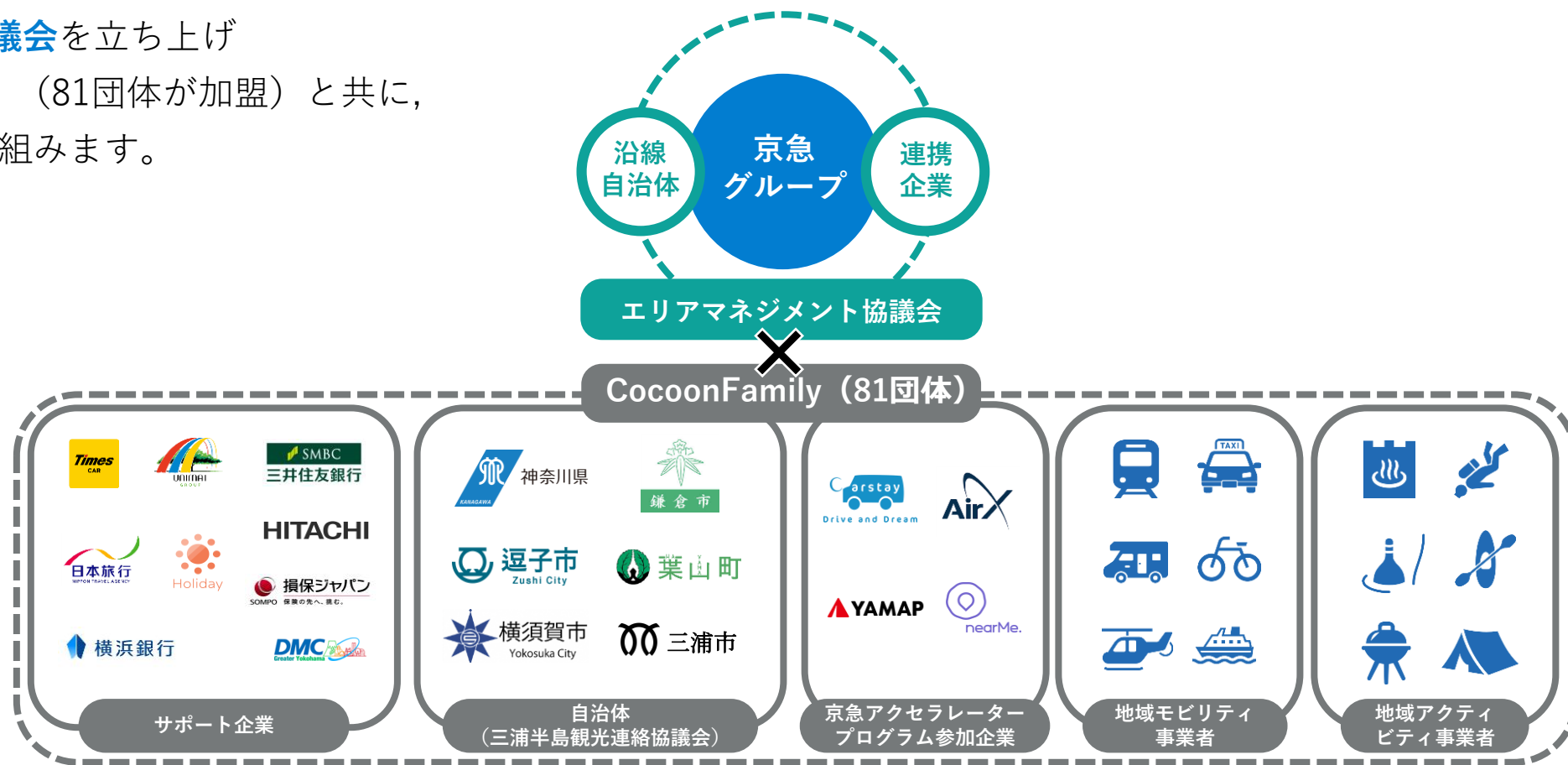
1 エリアマネジメントによるエリア価値向上

① エリアマネジメント組織による地域課題の解決

沿線自治体, 金融機関, 地元企業等と連携し,

エリアマネジメント協議会を立ち上げ

「三浦Cocoon Family」(81団体が加盟) と共に,
地域課題の解決に取り組みます。



1 エリアマネジメントによるエリア価値向上

② 観光型MaaS機能整備による滞在性，回遊性向上

地域連携観光コンテンツ開発



ワーケーション

アウトドア

農漁業体験等

共通機能導入による相互誘客

地域共通予約

決済

電子チケット



『三浦Cocoon』WEBサイト

モビリティ強化



自転車

カーシェア

電動キックボード

オンデマンド交通等

データ分析によるサービス改善

営業時間

ダイナミックプライス

サイト改善等



1 エリアマネジメントによるエリア価値向上

③ 新規事業者の誘致による魅力ある施設の整備（城ヶ島）

富士山が一望できる希少な眺望や、自然に囲まれた美しい土地の魅力に相応しいブランドを誘致し、ラグジュアリーホテルを整備します。

また、周辺地区は地元関係者と一体となって賑わいのある街並みを整備し、宿泊のお客様だけでなく、城ヶ島を訪れるすべての来訪者が、城ヶ島の魅力を感じていただくことを目指します。

ラグジュアリー

眺望

観光活性化



2 定住人口増加（多様な住まいの提供）

①三浦暮らしを実現する多様な住まいの提供

海一望のバケーションレンタルや、空き家を活用したサブリース付セカンドハウスなど、「試しに三浦に住んでみる」を気軽に叶える環境を整備し、都心からの移住や二地域居住を促進していきます。



② 多世代住宅の整備

三浦海岸エリア

河津桜で有名な三浦海岸は、温暖な気候や平坦なアクセスなど、優良な住環境を備えています。まちづくりのノウハウを持つデベロッパーと共同で、分譲マンションや、介護・医療と連携した高齢者向け住宅等を整備し、地域活性化に向けた多世代共生のまちづくりを進めます。

多世代共生
住宅

まちづくり

地域活性化



3 交流人口増加（観光、回遊性）

①地域事業者等との連携

新しいアクティビティやツアーを開発・運用し、滞在時間の延長や、消費単価の拡大に繋がります。



②官民連携事業（PPP/PFI）への参画

様々な企業・団体とコンソーシアムを組成し、特色ある施設の運営を展開することで、エリア全体の集客・回遊性向上を図ります。



3 交流人口増加（観光、回遊性）

③ 油壺地区における観光ハブ拠点の整備

四季を通じて、にぎわいの途切れない観光拠点

ホテル京急油壺観潮荘を中心に、油壺の魅力的な自然を満喫できる様々なレジャー・イベントを展開していきます。



③ 油壺地区における観光ハブ拠点の整備

将来にわたって持続可能な魅力ある観光地へ

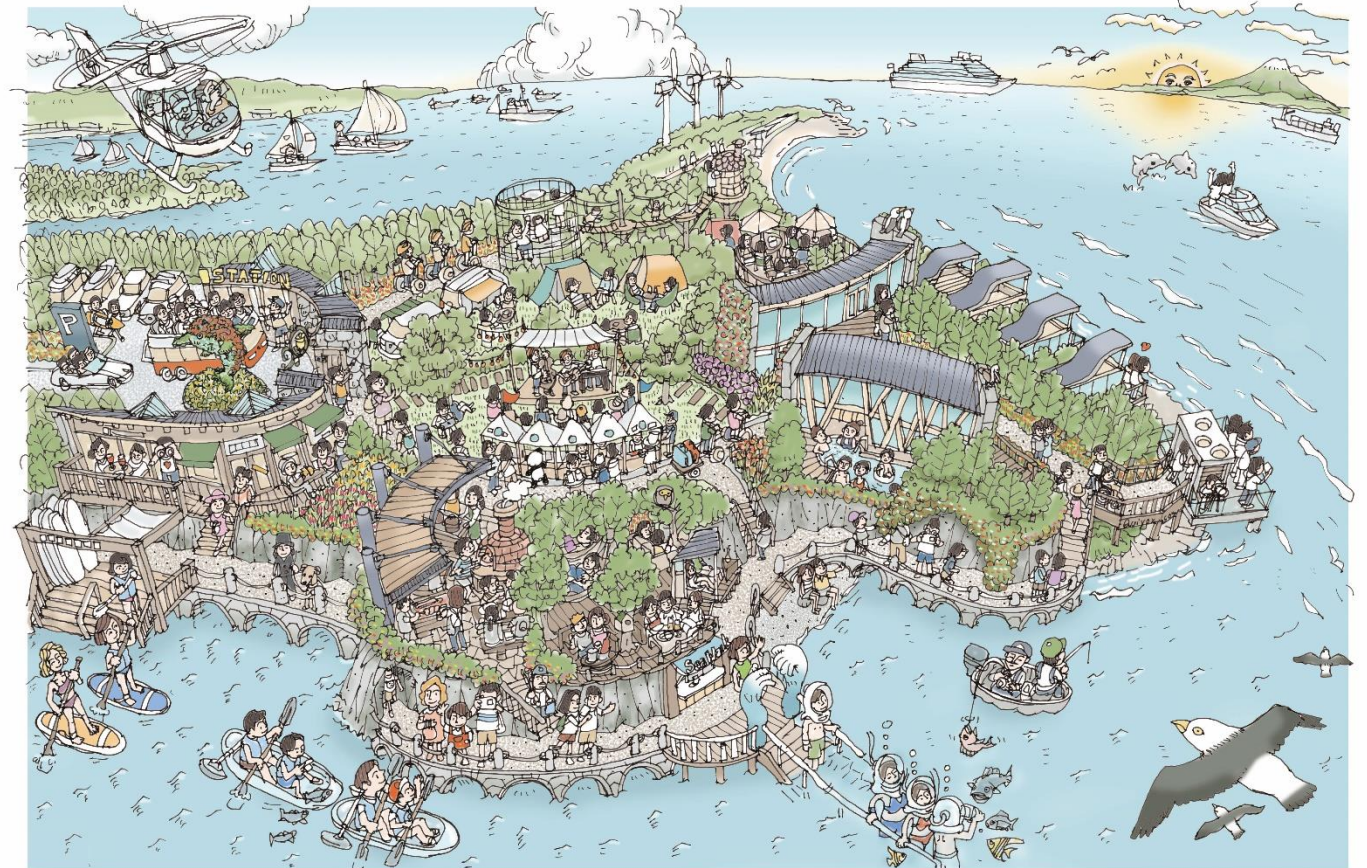
相模湾、富士山、小網代湾の眺望を有し、温泉も湧出する唯一無二の自然資源を誇る油壺エリアは、三浦半島のなかでも重要な観光地として位置付けられています。

今後、大手デベロッパーとの協業によって、油壺の魅力を最大限に引き出す宿泊やアクティビティなど、次世代へ向けた観光コンテンツの開発に取り組めます。

温泉

マリン
アクティビティ

観光拠点



2021年から2023年度を助走期間として

「都市近郊リゾートみうらの創生」へ向けて

—3年間の中期経営計画を推進します—

2021～2023年度

事業連携先協議

エリアマネジメント協議会の設立・企画実施

所有土地の価値向上

整備工事着手

2024年度～

都市近郊リゾート
三浦の創生

